



	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		利用児童の特性に応じた視覚支援や発達に応じた環境設定に努め、定期的に見直しをおこなっております。また構造的に段差は少なく、おおむねバリアフリーになっております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		日々の清掃や整理整頓を徹底しておこない、児童の特性や発達年齢に応じた物の配置・動線づくりに努めております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		パーティションで区切られ、ソファで休むことが出来るスペースを確保しております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	6		日常のミーティングやリフレクション会議などで情報共有をおこない、現状把握と改善点を話し合っております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎年アンケートを配布し、ご意見やご意向を把握することにより、改善につなげております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		ケース会議やリフレクション会議にて職員間で意見を交わしており、その内容を業務改善につなげております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		事業所内の職員研修は年間計画を立てた上で定期的におこない、外部で受けた研修は全職員に周知・共有し、資質の向上に努めております。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		公式Webサイトにて公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		アセスメントから児童や保護者様のニーズを分析し、適切な計画を作成しております。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		計画作成の際には、児童の最善の利益を目的とした全職員参加の会議を必ずおこない、共通理解を図っております。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		放課後等デイサービス計画を作成し、必ず全職員に周知し、共通理解を図っております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		標準化されたアセスメントシートを使用して現状の把握に努め、日々の事業所での様子については放課後等デイサービス計画に沿った内容で記録をおこなっております。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		支援はガイドラインの原則の基本活動を複数組み合わせ、児童の特性や年齢などを考慮した構成となるよう心がけております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		有資格者がそれぞれの立場から意見を出し合い、児童の発達年齢や特性を加味しながら全職員で話し合い、立案しております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		季節ごとのプログラムや、児童の興味・関心を取り入れるなど、さまざまな状況に応じて活動の内容を工夫しております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		児童の特性や状況、活動時間に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援開始前には、当日の予定や支援内容を話し合う時間を設け、児童の情報共有や役割分担の確認をしております。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		送迎などの時間もおり、支援終了後の全職員での打ち合わせをおこなっておりますが、翌日の感礼や連絡ノートを活用し共通理解を図っております。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		支援内容について正確に記録することを徹底しており、次の支援担当者への申し送りや職員間での共有を図りながら、支援の振り返り・改善に努めております。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年ごとに必ずモニタリングをおこない、児童の状況や保護者様のニーズを把握し計画を作成しております。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		保護者様のご意向や児童の特性、ご家族の状況に応じて「4つの基本活動」を複数組み合わせしております。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	6		自主的に活動できるように、視覚支援で理解しやすいスケジュールなどを用いて支援をおこなっております。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	6		担当者会議に参加しているのは児童発達支援管理責任者であり、会議の内容は職員間で共有しております。	
	27 地域の保健、医療（治癒や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要に応じて、各関係機関と情報共有などをおこなっております。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		保護者様を通じて学校の下校時刻、行事予定などを共有しており、トラブルの際には迅速に連絡をおこなうよう努めております。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		担当者会議を通じて支援内容などの情報共有と相互理解を図り、支援の方針が統一されるよう努めております。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		保護者様のご意向をうかがったうえで各関係機関と密に連絡を取り、情報共有を図っております。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		児童発達支援センターや専門機関と連携し、助言などを受けております。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6	今年度は交流の機会はありませんでした。	今後は保護者様のご意向をうかがいながら、近隣の関係機関との交流を検討してまいります。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		開催される際には、積極的に参加させていただいております。	
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		児童の様子や療育内容は、日々の連絡帳に記載しております。また、送迎時にはできるだけその日の児童の様子をお伝えするよう心がけて保護者様と情報交換をおこない、児童についての共通理解を深めております。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		保護者様からのご相談に対しては助言などの支援をおこない、自治体主催のペアレント・トレーニングの情報が必要なご家族に提供しております。	
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時には質問やご不明点がないかを確認しながら話を進めるなど、丁寧な説明に努めております。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けています。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		放課後等デイサービス計画を作成した際には、必ず保護者様に丁寧な説明を心がけ同意を得るようにしております。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		電話や連絡帳のご相談には児童の状況や課題を十分に把握した上で、さまざまな視点での助言や迅速な対応ができるよう心がけております。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設けているか。		6	今年度は保護者様の集まる機会が設けられておりません。	今後は児童の現状や保護者様のご意見を踏まえて、交流会などを検討してまいります。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情窓口を定め、苦情をいただいた場合には全職員に周知し、ご意向の内容と対応について共通理解を図り、迅速かつ丁寧な対応を心がけております。	
	42 定期的に通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		季刊のCOMPASSおよび毎月のごどもカレンダーを発行しているほか、LINE公式アカウントなどでブログの更新や情報をお伝えし、公式Webサイトで事業所の様子を公開しております。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		契約時に氏名や写真など個人情報の取り扱いについて書面を確認し、ブログなどへの掲載可否についても保護者様の同意をいただくようにしております。個人情報に関する書類はファイリングし鍵付書庫にて厳重に管理しております。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		児童には状況や特性に合わせた伝達方法を用いております。保護者様には専門用語は避け、わかりやすい言葉を使うよう心がけております。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。		6	今年度は実施しておりません。	今後は保護者様の意見をうかがいながら検討してまいります。
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルは保護者様にもご覧いただけるよう事業所内入口に提示し、定期的な訓練もおこなっております。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救助その他必要な訓練を行っているか。	6		業務継続計画を策定し、地震・火災・風水害を想定した避難訓練を年間計画に基づき実施しております。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等こどもの状況を把握しているか。	6		ご契約の際に、必ずアレルギーや服薬の有無についてお伺いしております。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		アレルギーのある児童を受け入れる際には、医師と連携し指示書に基づく正しい対応を熟知して、安全な支援に取り組んでまいります。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全管理のために必要な研修や訓練などについて実施をしております。	
51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全管理に関する各種計画やマニュアルを作成して、事業所内にて周知するとともに保護者様にお伝えしております。		
52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		事象の発生ごとに報告書を作成し、全職員で話し合いの機会を持ち、改善を図っております。		
53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		全職員で虐待防止への理解を深め、年間計画に基づき職員研修を実施しております。		
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		「COMPASSグループ」身体拘束等の適正化のための指針に基づき、原則として身体拘束はおこないません。やむを得ず身体拘束が必要となる場合には、児童や保護者様に事前に十分な説明をおこない、承諾を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。